

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(葵が丘小)学校運営協議会長

<本年度の目標>

- 『子供の主体性の育成』に向けたその導き方なども踏まえ、委員間で活発な意見交換を交わし、より充実した熟議が行う。
- 2年間を通して確立された組織を生かしながら、保護者にもっと周知してもらえるように、情報発信の強化を図る。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長より学校運営の基本方針についての説明を受け、理解に努めた。議長を中心に、委員全員が、さまざまな観点から意見を出し合い、大変充実した熟議を行うことができた。
- 3年目ということもあり、委員一人一人のモチベーションが向上し、活発な意見交換がなされ、価値のある熟議ができたように思う。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 基本方針に対して共通理解が持っており、何が必要なのか、委員全員が理解しているので、学校支援コーディネーターを中心に、保護者・地域を巻き込み活動することができた。会議の中でも、この点について十分な熟議ができたと思う。
- 学校・地域・学校支援コーディネーターの視点から様々な意見を聞き、熟議・熟考することができた。学習活動の中で、子供たち一人一人が主体性を持ち、しっかりとした考えや意見を発表する姿が多く見られ、着実に成長していると感じた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 昨年度に比べ、さくら連絡網での情報発信が増えたように思う。一歩的な発信に留まるのではなく質問できる場などがあれば、さらに理解を深めることができると感じる。今後その手段についても協議していきたい。
- 学校から保護者に対しては、さくら連絡網で発信が確立しているため、保護者の理解は深まっているように思う。しかしながら、年々地域行事への参加者が減少していることから、地域への発信については不十分だったと感じる。地域からの情報発信のあり方についても検討すべきである。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 一期三年間で強固な協議会組織が確立したと思う。「主体性の育成」という目標には終わりがなく、今後も継続して取り組むべきだと考える。二期に向けて、協議会メンバーを中心に、学校・保護者・地域が一丸となり、学校の抱える課題に取り組んでいきたい。
- 順調に運営ができていると思う。評価を踏まえた更なる発展のためにも、保護者と地域への周知を広げていくことが大切だと考える。様々な年齢層の交流等、人との関わりによる体験・経験を通して、子供たちの社会に対する視野の拡大につながるよう、より充実した熟議となるよう努めていきたい。